

# 野球 田辺市長に指名を報告 プロ 独立リーグ兵庫の2選手

プロ野球ドラフト会議で育  
成選手として指名された独立

リーグ「兵庫ブルーサンダーズ」(兵庫県三田市)の2選手がこのほど、田辺市役所を訪れ、真砂充敏市長に報告し

10月のドラフト会議で読売巨人軍に育成3巡目で指名された山川和大投手(21)と、東北楽天ゴールデンイーグルスに育成3巡目で指名された



真砂充敏市長にあいさつする向谷拓巳選手(左)と山川和大選手  
—田辺市役所で

向谷拓巳内野手(19)、兵庫の高下沢球団代表(32)の3人が訪れた。

独立リーグ「ベースボール・ファースト・リーグ(BFL)」の兵庫は3月、田辺市中辺路町で投手と捕手のキャンプをした。6月には同市の田辺スポーツパーク野球場で独立リーグ選抜チームと台湾の社会人野球チームが交流試合をし、山川選手や向谷選手が出場した。

真砂市長は、2選手に「機会があれば、年間を通じて温暖な気候の田辺市でまたキャンプをしてください」などと励ました。

最高152km/hの速球が武器の山川選手は「どんな形であれプロ入りはうれしい。早く1軍でプレーしたい。独立リーグの環境や出会いがなければ今の自分はなかった」、50分5秒69の俊足を誇る向谷選手は「1軍での活躍を目指してはい上がるしかない」と、ともに活躍を誓った。

来年4月からは、田辺市を拠点とした新チーム「和歌山ファイティングバーズ」がBFLに参入する。高下代表は新チーム発足の仕掛け人になるなど、リーグを盛り立てている。